

事業番号	0033	事業名	検察総合情報管理の運営
------	------	-----	-------------

### 外部有識者の評価結果

<事業の支出先及び使途の把握水準について>

1 十分	3
2 改善の余地あり	3
3 不十分	0

(評価シートに記載されたコメント)

#### 【十分】

- ・ 質問に対する説明としては十分(中身の適否判断は別にして)

#### 【改善の余地あり】

- ・ どうして一者応札なのかしっかりと把握すべき。
- ・ 一者応札, アプリケーション保守コスト高止まり傾向にあるのでは。
- ・ システム最適化計画との比較が妥当かのチェックが定期的になされていない。計画自体も毎年(あるいは複数年)で見直すべき。

<事業についての見直しの余地について>

1 一部改善	4
2 抜本的改善	2
3 廃止	0
4 現状のまま	0

#### 【一部改善】

- ・ 運用管理, 賃貸借のコスト効率性に関する説得性(説明責任)が必要
- ・ 一者入札を極力排除する仕組みを構築する必要がある(本体システムと保守等を一体とした)。
- ・ アプリケーション保守等が開発業者に集中しないような仕組みが必要と思われる。
- ・ 仕組の作り方そのもの(条例改正のたびに修正が必要なシステム)が妥当なのか, 再検討の余地があるように思われる。
- ・ 競争的入札の要素を特に保守契約に導入して総合コストをより低減できるのではないか。その課題を取り上げるべきだと思う。ベンダーロックが実際にかかってしまっている状況であり, その原因を明確にして解決すべきである。

#### 【抜本的改善】

- ・ システム設計, 運用の在り方を抜本的に見直し, ワークフローと保守管理を含めて詳細に検討して, より, ライフサイクルコストの低減に貢献し, より業務負担を軽減するものに変えた方がよい。
- ・ アプリケーション保守契約など, 方法, 金額が妥当か否か精査が必要である。